ニューギン・アドバンス newgin advance

スマート遊技機専用島『セルフリムーヴ』

業務改善

40台をわずか3時間でe⇔L切替の新常識

〝くるりんぱ〟でe⇔L切替を可能とする『セルフリムーヴ』。そのスピード感が、GW商戦直前のリニューアルを成功に導いた。

GW前の大規模リニューアルにより、1ボックス（40台）のスマパチをスマスロへ変更。
『セルフリムーヴ』であればこそ、40台規模の切替工事もわずか3時間で完了した。

40台e⇔L切替わずか3時間で完了

4月19日、《DSGアリーナ春江店》（福井県坂井市）がスマパチ1ボックス（40台）をスマスロへ切り替えるリニューアル工事を実施。わずか3時間での切り替えを支えたのがスマート遊技機専用島『セルフリムーヴ』だ。『セルフリムーヴ』は、「はずして」「まわして」「くるりんぱ（ひっくり返す）」という3ステップだけでe⇔L切替が完結する、スマート遊技機専用の可変島システムである。

従来のP⇔S（e⇔L）切替では、専用部材の保管や専門業者の手配、これに伴うコスト（1島あたり150万円程度）が発生していた。『セルフリムーヴ』はこうした費用や準備作業が一切不要だ。また作業時間は1台あたりわずか3分。木枠を留めている4本のビスを外し、取り外した木枠を上下に反転させて再び固定するだけだ。

必要なパーツは木枠1つとシンプルで、軽量のため女性スタッフでも無理なく扱える点が、現場で高く支持される理由のひとつとなっている。

市場トレンドに即応機動的なリニューアル

昨年末にグランドオープンを果たした《DSGアリーナ春江店》。同店は、オープン時、スマート遊技機コーナーへ専用島『セルフリムーヴ』を導入し、機種構成の柔軟な変更を可能とする運営体制を構築していた。

リニューアル工事が実施されたのは、ゴールデンウィーク直前の日曜日にあたる4月19日で、年間でも指折りの繁忙タイミングである。大型タイトルの市場投入が続くスマスロ需要に即応し、GW・お盆商戦に向けてパチスロ比率を高めることが狙いだ。

40台規模の切替ともなれば、従来工法では決して小さくない手間とコストがかかる。だが『セルフリムーヴ』であれば、島本体の切り替えはごく短時間で済む。台間ユニットも、パチンコからパチスロへの設定変更のみで対応可能。周辺設備込みでも3時間で完了するスピード感は、従来工事の常識を覆すものと言えるだろう。

スマスロの市場導入比率が約6割に迫る現在、既存のパチンココーナーをパチスロへ転換するニーズは、今後も拡大していくと見込まれる。同店のように早い段階から『セルフリムーヴ』を導入しておけば、市場動向に合わせた機種構成の調整を、短期間・低コストで機動的に行える体制が整う。こうした機動力こそ、激変する市場環境下において、ホールの稼働維持・向上を支える〝切り札〟となるだろう。

木枠を留めている4本のビスを外し、取り外した木枠を上下に反転させて再び固定するだけでe⇔Lの切替が完結。

《DSGアリーナ春江店》（福井県坂井市）。

昨年12月のグランドオープン時、既に同店ではスマート遊技機コーナーに195台の『セルフリムーヴ』を採用。市場トレンドに即応できる機動的な体制を整えていた。

www.newgin.co.jp/advance/ ニューギン・アドバンス 03-5818-2571